

劣化した瓦を甦らせる一つの方法

オリトシールド

弱溶剤 2液型 素地調整材 (厚膜タイプ)

乾式コンクリート瓦・薄型化粧スレート・セメント瓦 等の
著しく劣化した屋根材が **劇的に甦ります。**

オリトシールド

対象基材

乾式コンクリート瓦 (モニエル瓦、スカンジア瓦など)

薄型化粧スレート (フルベスト、カラーベスト、コロニアルなど)

プレスセメント瓦

* 基材の判別は、カタログ冊子や色見本に記載の、「基材の種類表」などをご確認ください。

* 塗料で基材の割れやヒビは補修できません。別途、差し替え工事を行ってください。

* 踏み割れを起こすような、強度の弱くなった基材には、ご使用になれません。

* 薄型化粧スレートで、表面強度の弱い一部の基材にはご使用になれません。

用 途

* 既存塗膜がほとんど無くなる程に劣化した基材(下の写真)を塗り替える際に、素地調整として使用してください。厚膜タイプで、基材表面の凹凸を補正することが出来ます。

オリトシールドは、洗淨不足を補うものではありません。

(仕上げに上塗り塗装が必要です。組み合わせる上塗り塗料は、下記から選択ください。)

<<乾式コンクリート瓦の劣化>>



<<薄型化粧スレートの劣化>>



組み合わせ・上塗り塗料

塗 料	種 類	用 途	入り目	硬化剤比
マイティーシリコン	弱溶剤2液シリコン塗料	乾式コンクリート瓦用	18kg/㎡	5+1
クールくんマイティーシリコン	弱溶剤2液シリコン塗料 遮熱タイプ		14kg/㎡	6+1
ニューマイルド優雅	弱溶剤2液シリコン塗料	セメント瓦	18kg/㎡	5+1
クールくんマイルド優雅	弱溶剤2液シリコン塗料 遮熱タイプ	化粧スレート	14kg/㎡	6+1

オリトシールド

仕 様	混合比（主剤＋硬化剤）	可使時間
	6+1 （重量比）	5時間 （20℃雰囲気下） 高温多湿で短くなります。

*可使時間を経過した塗料は、流動性があっても廃棄してください。

ご使用前には主剤缶の天を切り開け、電動の攪拌機でダマのない状態まで攪拌してください。

主剤は、骨材が沈殿している場合があります。容器の移し替えや、量り込みをする際、小分けして使用する場合も、開缶しての攪拌が必要です。

工 程		材 料	希 釈	塗装面積
1	下地処理	浮いている旧塗膜、苔やカビをケレン除去する。 基材に適した水圧で高圧洗浄し、十分に乾燥させる。		
乾 燥 間 隔		晴天 2～3日		
2	下地剤	オリトシールド	刷毛 ・ ロールー：無希釈 吹き付け(エアレス)：無希釈	45～65㎡ ／14kgセット
乾 燥 間 隔		24時間以上（20℃雰囲気下） *A		
3	上塗り	各 種 * B	各上塗りのカタログで仕様を確認ください。 刷毛・ロールーの場合は無希釈で塗装してください。	
乾 燥 間 隔		3時間以上（20℃雰囲気下） *A		
4	上塗り	各 種 * B	3に同じ	

*A) 曇りの場合や、気温が低い場合は乾燥が遅くなります。

*B) 上塗り塗料は、左ページの「組み合わせ 上塗り塗料」の中よりお選びください。

*塗装面積を守って塗装してください。（オリトシールドの塗布量は、215～310g/㎡・1回）

下塗り・上塗り共に膜厚が不足すると、性能が発揮されません。オリトシールドの上には、上塗りを必ず2回以上塗装してください。

適合ロールー：厚塗りATUKO 6インチ 18mm（好川産業株式会社）

エアレス仕様：型式 PS 3-23 もしくは、SF 23（日本ワグナー）*注意事項は別紙参照

チップ口径 0.017～0.019インチ 、吹付圧力 10～12MPa

【施工写真】



(塗装前)



(塗装後)

<< オリトシールド エアレス塗装 >>

☆上塗り（弱溶剤タイプ）に使用する塗装機で、オリトシールドが塗装できます。

タイプ	電動ピストン式エアレス	電動ダイヤフラム式エアレス
推奨機種	PS 3-23 日本ワグナー・スプレーテック(株) 製	SF23 Select 日本ワグナー・スプレーテック(株) 製
設定	中間フィルターは外してください。 (下記写真)	-----

*他メーカー品も、同等機種を選定ください。



中間フィルターと、フィルターの取り付け位置



ダイヤフラム式エアレス機

推奨チップ (日本ワグナー)	417 / 517	419 / 519
(精和産業)	1640 / 1650	1840 / 1850
(旭サナック)	16C07 / 16C09	20C07 / 20C09
チップ口径	0.017 インチ (0.43mm)	0.019 インチ (0.48mm)
吹き付け圧力	10~12 MPa	
吐出量の目安 (10.5MPa時)	0.92~1.35 L/min	
ホース	長さ30m、ねじサイズ 1/4インチ (一般呼称 2分) (内径 φ 約6mm)	
ガン側のフィルター	50メッシュ(より細かいメッシュが取り付けられている場合は、取り外すか、交換してください。)	

*上記はテストで問題なく塗装できた条件です。使用状況に合わせ、適宜調整してください。

*吹き付け塗装における注意事項などは、裏面をご確認ください。

*オリトシールドの詳細については、製品カタログをご確認ください。

＜吹き付け塗装の注意事項＞

- * 塗装機は、ORマイルドシンナー（もしくは塗料用Aシンナー）で循環洗浄してから、オリトシールドに使用してください。水やアルコール系のシンナーや残塗料などが混ざると、機械内でゲル化する危険があります。
- * 使用前に塗料の攪拌は確実に行ってください。主剤の攪拌が不足すると、塗料の粘性が適正に低下せず、粘度に偏りが出るため、塗装機が目詰まりが起こる場合があります。
- * 主剤と硬化剤を混合後、数時間が経過すると塗料の粘性が上昇します。粘性が上がると塗装機が目詰まりが起こり、塗装仕上がりが悪くなる場合がありますので、数時間で使い切る適量の調合（既定の混合 重量比 主剤6：硬化剤1）をお願いします。
- * 吹き付け塗装（エアレス）の塗着効率は一般的に40～50%です。更に、強風下での塗装は、塗着効率が低下します。刷毛・ローラー塗装よりも1缶で塗装できる面積が狭くなる場合がありますので、塗装状況に合わせて調整してください。
- * オリトシールドは、無希釈で吹き付け塗装が可能です。混合から数時間後に塗料の粘度が上昇した場合には、ORマイルドシンナーで希釈してください。（3～5%以下）希釈しすぎると垂れやすくなり、膜厚が不足するため仕上がりが悪くなります。
- * 塗装機の使用後は、ORマイルドシンナーもしくは塗料用シンナーで洗浄してください。ラッカーや他のシンナーで洗浄される場合は、予めORマイルドシンナー、もしくは塗料用シンナーで洗浄（残塗料の押し出し）をしてから、洗浄してください。
- * 吹き付け塗装では、塗料が近隣へ飛散する恐れがあります。養生などの飛散防止を行った上で作業してください。



＜オリトシールドがゲル化しやすい条件と対策＞

- ①材料を直射日光下に置く。（液温の上昇） → 材料は日陰に置いて作業してください。
- ②開缶後、開封状態で長時間放置する。
（空気との接触時間が長いと湿気と反応する） → 使用の都度、フタを閉めてください。
- ③長期保存した材料を使用する。（未開封品） → 製造から半年以内に使用してください。
- ④一度開封した材料を、後日使用する。 → 開封後はできるだけ早く使い切ってください。また、混合直後に増粘した場合は、使用しないでください。

オリトシールド

色 グレー (日本塗料工業会 色見本 N-70 相当)

荷 姿

	荷 姿	主 剤	硬 化 剤
オリトシールド	14 kg セット	12 kg (約 15 L)	2 kg

オリトシールド推奨ローラー

- ・好川産業株式会社
厚塗りATUKO
- ・大塚刷毛製造株式会社
ピーチ
- ・株式会社タイホウ
太陽

※毛丈18mm以上のローラーが最適です。
マイクロファイバーは不向きです。



注意事項

- ①火気厳禁—引火性です。
- ②有害性があります。取り扱いの前に、製品ラベルの注意事項および、安全データシート(SDS)をお読みください。
- ③朝夕の結露の時期、被塗物が異常に高温の時、降雪雨が予想される時は、塗装を避けてください。
- ④2液反応型塗料のため、主剤、硬化剤共に開栓後はなるべく早く使い切ってください。
- ⑤可使時間は20℃雰囲気化で約5時間です。適量を調合し、可使時間内に使い切ってください。
- ⑥高温多湿的环境下では、保存期間や、可使時間が短くなります。
- ⑦使用前に塗料が均一になるまで攪拌してください。
- ⑧主剤と硬化剤は、計量混合後に、直ちに均一になるまで攪拌してください。
- ⑨有機溶剤を含みます。蒸気を吸わないようにしてください。
- ⑩屋外、または換気の良い場所でご使用ください。
- ⑪使用の際は、保護具(マスク、手袋、保護メガネ、保護衣など)を着用してください。
- ⑫使用後は手洗い、うがいを行ってください。
- ⑬密閉して冷暗所で保管してください。
- ⑭廃棄は、環境に配慮し産廃処理業者に委託してください。
- ⑮基材に割れやヒビがある場合は、塗り替えでは補修できません。
- ⑯塗装には適切な下地処理が必要です。洗浄が不足すると剥離する場合があります。

オリエンタル塗料工業株式会社

本社・工場

住所 大阪市平野区加美北4丁目5番38号

電話 06-6791-4031 FAX 06-6791-4034

福岡営業所

住所 福岡市早良区飯倉3丁目29-8

電話 092-831-2281

東日本営業所

住所 埼玉県越谷市三野宮476 ミルトクラール1番館102

電話 048-940-3927

ホームページ: <http://www.oriental-toryo.jp>

メールアドレス: oriental@jeans.ocn.ne.jp

取扱店:

